

概要

- 箱崎地区は、東日本大震災津波により、漁業はもとより観光業にも甚大な被害を受け、地区内の観光入込客数は震災前の約4割にとどまっている。
- 本地区には地域資源となる施設が数多くあり、体験メニューも行われているが、全国における認知度が低く、各々連携した取組となっておらず、観光客数の増加につなげていない。
- 地区内の施設や体験メニュー等の地域資源の魅力を活用し、交流人口の増加による地域所得の向上を図るため、漁業や観光業など各産業が連携した海業振興に係る基本計画を策定する。



海業の取組概要



効果

内容	現状(R5)	目標(R8)
海水浴客数	6.9千人/年	8.4千人/年
自然体験プログラム参加者数	0.3千人/年	0.6千人/年
漁業体験活動参加者数	0.2千人/年	0.3千人/年

協力体制

岩手県
釜石市
釜石東部漁業協同組合
漁業者
民間事業者（株式会社かまいしDMC等）

スケジュール

令和6年4月 関係機関合意形成調整
令和6年4月～ 海業振興基本計画策定
令和7年4月～ 海業振興基本計画に則り、事業開始

- ・既存施設や体験メニューを連携させたプログラムの創出及び広告の強化
- ・集客力の高い新たな体験メニューの創出
- ・取組の効果を向上させるために必要な施設の整備 等

⇒上記取組等の海業振興に係る基本計画を策定し、当該計画に則り実施していく